

理念共有の政策集団

新会派を結成し、記者会見に臨む県議ら14日、
県庁記者室



「清風」会見

県議会自民の体質批判 会派再編と離党は別

新会派「清風」(石黒豊会長)を立ち上げた十三人の県議は会派届を提出後、県政記者室で会見。県議会自民党の体質を批判し、川上義博氏支援で自民党を離党した七人を中心とした会派結成ではなく、理念を共有する仲間による政策集団としてのスタートをアピールした。

義的手法を経て赤沢さんが公認候補になったが、川上氏を応援することを当たり前ととらえて動いていたため、川上氏を推すに当たり、県連の役職を辞め、党も離れた。正しい判断だと考えている」と答えた。鉄永議員は、藤井会長と話し合い、それなりに努力してきたが、自分に近い考えの方々が新しい会派を作ることとなった。県議会自民党には責任を感じている」と前置きした上で、「自

会見では石黒会長が「なかった」と県議会自民「県議者に清らかな風を吹かす」と会派名と会派理念や会派の役員体制、九月定例県議会での代表質問は見送ることなどを発表した。自民党県連会長代行でもある山口議員は「理念が共有できる。共通の認識があるという点で一緒になった。県連と県議会はセパレート」と新会派参加の理由を述べ、県議会の会派再編の動きと自民党の離党とは別問題であると強調した。

党県連の役員だった石の通り。

このほか、野田議員は「しがらみ、長老支配といったマッチしない部分があった。改革の努力を参加していることについて、石黒議員は「民主主義

決意

農家の皆様をはじめ、台風十四号の被害を受けた方々に、心からお見舞い申し上げます。早いもので、県議会に送り出して頂いてからやがて二年半になろうとしています。おかげさまで、はつらつと議会活動を展開させて頂いております。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

この間におきまして、議会活動の拠点としておりました会派の中で、日頃から活動を共にし、理念を共有する同志の方々から、行動を共にすべく新会派へ参加の申し出がありました。これを受けてまして、後援会役員の皆様にご相談いたしましたところ「県議会議員としてのふじなわ喜和が、最

新しいスタート台に立つ！

も充実した活動が可能な会派に身を置くことが一番大切なこと」「どこの会派にいても、我々後援会は「ふじなわ喜和」を力一杯応援することに変わりはない」など、ご理解を頂くとともに力強い激励を頂いたとります。後援会の皆様のありがたいお気持ちに身にしみた次第であります。

こうした経過をもちまして、政治理念を共有する同志の議員と、新会派「清風」に参加することを決断いたしました。ここに謹んでご報告させていただきます。なお、申し添えますと自民党員として党の活動は続けてまいり所存でございます。

課題山積みの県政であります。更に一層精進いたしまして、県民の皆様のため議会活動に取り組んでまいり覚悟でございます。皆様の温かいご理解と更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。ましてご報告とさせていただきます。

ふじなわ 喜和

2005.9
No.11

よしかず

発行：ふじなわ喜和
鳥取市湖山町北4丁目812
tel&fax 0857-28-2795

とっとり情熱 がわら版

県政報告



- 鳥取県議会の会派構成 新会派「清風」の結成で、県議会の会派構成は次の通りになった。
清風 13人 自民党 11人 信 6人 住民連合 2人 公明党 2人
社民党 1人 えがりて 1人 きずな 1人 無所属 1人